



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 鬼怒川ゴム工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5196 URL <http://www.kinugawa-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関山 定男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 嶋津 智昭 (TEL)043(259)3114
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	34,498	2.3	3,927	0.1	3,943	0.7	2,226	10.2
24年3月期第2四半期	33,717	2.3	3,924	1.0	3,916	0.6	2,478	7.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,403百万円(6.8%) 24年3月期第2四半期 2,578百万円(18.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	33	12	33	12
24年3月期第2四半期	37	18		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第2四半期	47,869		23,591		47.9	
24年3月期	46,713		21,625		45.0	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 22,947百万円 24年3月期 21,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
24年3月期		0	00	6	00	6	00
25年3月期		4	00				
25年3月期(予想)				4	00	8	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	67,000	5.1	7,500	10.1	7,500	12.3	4,200	20.8	62	47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 有
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	67,299,522株	24年3月期	67,299,522株
期末自己株式数	25年3月期2Q	65,233株	24年3月期	63,268株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	67,235,071株	24年3月期2Q	66,674,602株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

平成24年12月2日(日)・・・個人投資家向け決算説明会

平成24年12月6日(木)・・・機関投資家向け決算説明会

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
平成25年3月期第2四半期決算概要(参考資料)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、震災の復興需要やエコカー補助金等の政策効果による内需の回復はあったものの、円高の長期化や新興国経済の減速等により、景気は足踏み状態となっております。

当社の主要得意先の自動車生産は、国内は前年の震災による生産停止の影響やエコカー補助金の効果などにより、前年同期比で約1割の増加となりました。海外は新興国を中心とした販売の増加により、約1割増加しました。グローバルでは前年同期比で約1割の増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、344億9千8百万円（前年同期比2.3%増）となりました。部門別の売上高は、車体シール部品は米州及アジアの生産量の増加により166億6千9百万円（前年同期比7.3%増）、防振部品は生産量の減少により70億7千4百万円（前年同期比6.9%減）、ブレーキ部品は生産量の増加により69億4千5百万円（前年同期比4.9%増）、その他製品は受注の減少により32億1百万円（前年同期比6.4%減）、その他事業は受注の増加により6億9百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

損益につきましては、調達資材のLCC化・汎用化及びアジアでのモノ造り改善活動などにより、営業利益は39億2千7百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は39億4千3百万円（前年同期比0.7%増）、四半期純利益は22億2千6百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

なお、セグメント別の状況は、次のとおりであります。

[日本]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数は増加しましたが、防振部品及びその他製品の減少により、247億1千2百万円（前年同期比1.5%減）となりました。営業利益は、モノ造り改善・調達資材のLCC化・汎用化などの合理化を継続したものの、モデルチェンジ等による製品構成の変化及び建機他の輸出向け部品の減少などにより、25億3千7百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

[米州]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の増加により、27億5千1百万円（前年同期比52.7%増）となりました。営業利益は、新車立ち上げに伴うコスト増により、5千7百万円の損失（前年同期は5百万円の利益）となりました。

[アジア]

売上高は、中国の自動車生産台数が引き続き増加したことにより、70億3千5百万円（前年同期比3.2%増）となりました。営業利益は、モノ造り改善のグローバル展開・調達資材の現地化・汎用化の効果などにより、14億3千9百万円（前年同期比37.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて現金及び預金が8億4千万円、たな卸資産が1億2千万円増加したことなどにより、14億8千7百万円増加の257億2千5百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて有形固定資産が2億5千9百万円増加、投資有価証券が5億7千9百万円減少したことなどにより、3億3千1百万円減少の221億4千4百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて11億5千6百万円増加の478億6千9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金が12億5千3百万円、未払法人税等が3億3千8百万円減少、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が10億6千3百万円、未払費用が5億9百万円増加したことなどにより、1千万円増加の174億7千4百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が8億9百万円減少したことなどにより、8億1千9百万円減少の68億3百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8億9百万円減少の242億7千8百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が18億2千3百万円増加したことなどにより、19億6千5百万円増加の235億9千1百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は36億6千2百万円と、期首に比べて8億4千万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が39億3百万円、減価償却費8億1千8百万円、法人税等の支払額19億9千4百万円などにより、15億4千9百万円の増加(前年同期は15億3千9百万円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得9億8千5百万円などにより、10億8百万円の減少(前年同期は6億5千2百万円の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の増加2億3千5百万円、配当金の支払額4億2千8百万円などにより、2億1千6百万円の減少(前年同期は13億4千2百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました予想数値を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成24年11月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「役員退職慰労金制度の廃止」

当社は、平成24年6月26日開催の第73期定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給を決議しました。

これに伴い、当社の「役員退職慰労引当金」の金額を取り崩し、打切り支給額の未払い分156,539千円を長期未払金として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821,659	3,662,555
受取手形及び売掛金	15,383,903	15,478,261
商品及び製品	1,339,421	1,270,329
仕掛品	1,192,557	1,204,083
原材料及び貯蔵品	1,716,709	1,894,830
その他	1,844,504	2,278,203
貸倒引当金	61,121	62,736
流動資産合計	24,237,634	25,725,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,772,366	4,658,469
機械装置及び運搬具(純額)	3,459,668	3,670,948
工具、器具及び備品(純額)	579,034	494,745
土地	10,338,766	10,353,991
建設仮勘定	210,832	441,662
有形固定資産合計	19,360,668	19,619,817
無形固定資産		
のれん	175,642	133,134
その他	257,853	243,790
無形固定資産合計	433,496	376,925
投資その他の資産		
投資有価証券	1,965,883	1,386,525
その他	736,504	783,449
貸倒引当金	21,058	22,683
投資その他の資産合計	2,681,329	2,147,292
固定資産合計	22,475,494	22,144,034
資産合計	46,713,128	47,869,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,008,369	6,755,098
短期借入金	2,162,144	3,434,007
1年内返済予定の長期借入金	1,875,809	1,667,528
未払費用	982,715	1,492,254
未払法人税等	1,832,274	1,493,891
賞与引当金	907,393	860,131
その他	1,695,426	1,771,587
流動負債合計	17,464,134	17,474,498
固定負債		
長期借入金	2,110,114	1,300,944
退職給付引当金	2,749,982	2,736,470
役員退職慰労引当金	181,998	42,148
その他	2,581,160	2,723,960
固定負債合計	7,623,254	6,803,522
負債合計	25,087,388	24,278,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,654,585	5,654,585
資本剰余金	849,597	849,597
利益剰余金	13,809,884	15,633,439
自己株式	26,111	27,154
株主資本合計	20,287,956	22,110,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,283	1,308
土地再評価差額金	2,471,580	2,471,580
為替換算調整勘定	1,755,491	1,635,969
その他の包括利益累計額合計	729,372	836,918
新株予約権	-	9,360
少数株主持分	608,411	634,793
純資産合計	21,625,740	23,591,539
負債純資産合計	46,713,128	47,869,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	33,717,642	34,498,908
売上原価	26,603,861	27,315,237
売上総利益	7,113,780	7,183,671
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	591,939	712,001
従業員給料及び賞与	849,933	871,143
法定福利及び厚生費	195,304	199,733
退職給付費用	70,199	60,049
賞与引当金繰入額	145,211	119,298
役員退職慰労引当金繰入額	21,440	6,771
減価償却費	86,902	74,979
賃借料	95,610	89,219
消耗品費	74,642	93,673
のれん償却額	34,657	42,508
その他	1,023,920	986,728
販売費及び一般管理費合計	3,189,762	3,256,106
営業利益	3,924,017	3,927,565
営業外収益		
受取利息	8,100	19,290
受取配当金	2,774	4,253
持分法による投資利益	13,767	45,687
固定資産賃貸料	30,849	25,665
助成金収入	65,685	2,890
その他	95,065	113,521
営業外収益合計	216,243	211,308
営業外費用		
支払利息	81,381	47,840
為替差損	82,441	96,698
その他	59,559	51,199
営業外費用合計	223,383	195,739
経常利益	3,916,878	3,943,133

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	2,818	14,673
その他	544	-
特別利益合計	3,362	14,673
特別損失		
固定資産除却損	10,001	1,027
割増退職金	24,758	47,695
災害による損失	17,648	-
その他	1,995	5,961
特別損失合計	54,405	54,684
税金等調整前四半期純利益	3,865,835	3,903,122
法人税等	1,285,195	1,626,155
少数株主損益調整前四半期純利益	2,580,640	2,276,967
少数株主利益	101,915	49,995
四半期純利益	2,478,724	2,226,971

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,580,640	2,276,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,524	11,974
為替換算調整勘定	9,968	125,335
持分法適用会社に対する持分相当額	16,720	13,363
その他の包括利益合計	1,772	126,724
四半期包括利益	2,578,868	2,403,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,491,511	2,334,518
少数株主に係る四半期包括利益	87,356	69,172

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,865,835	3,903,122
減価償却費	1,058,974	818,962
のれん償却額	34,657	42,508
貸倒引当金の増減額(は減少)	14,964	2,926
退職給付引当金の増減額(は減少)	15,206	13,766
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	47,942	139,849
受取利息及び受取配当金	10,875	23,543
支払利息	81,381	47,840
有形固定資産売却損益(は益)	2,142	14,612
有形固定資産除却損	10,001	1,027
持分法による投資損益(は益)	13,767	45,687
売上債権の増減額(は増加)	3,800,035	38,182
たな卸資産の増減額(は増加)	219,412	94,157
仕入債務の増減額(は減少)	1,358,041	1,330,008
未払消費税等の増減額(は減少)	77,794	136,285
その他	117,757	468,882
小計	2,793,747	3,449,176
利息及び配当金の受取額	213,388	143,151
利息の支払額	81,298	47,788
法人税等の支払額	1,386,662	1,994,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,539,174	1,549,841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	463,219	985,778
有形固定資産の売却による収入	2,709	42,057
その他	191,674	64,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	652,184	1,008,297
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	696,194	1,268,324
長期借入金の返済による支出	1,360,072	1,032,475
自己株式の取得による支出	304,001	1,042
配当金の支払額	335,619	403,417
少数株主への配当金の支払額	29,761	25,544
その他	9,015	22,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,342,274	216,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,255	39,902
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	436,029	365,085
現金及び現金同等物の期首残高	2,574,988	2,821,659
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	62,416	475,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,201,375	3,662,555

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,099,996	1,801,650	6,815,995	33,717,642		33,717,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,089,034		191,000	1,280,035	1,280,035	
計	26,189,031	1,801,650	7,006,995	34,997,677	1,280,035	33,717,642
セグメント利益	2,870,253	5,153	1,047,383	3,922,790	1,227	3,924,017

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,712,322	2,751,576	7,035,009	34,498,908		34,498,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,411,135		287,244	1,698,379	1,698,379	
計	26,123,458	2,751,576	7,322,254	36,197,288	1,698,379	34,498,908
セグメント利益又は損失()	2,537,499	57,399	1,439,308	3,919,408	8,156	3,927,565

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第2四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成25年3月期 第2四半期 決算概要

[連結決算]

1. 業績

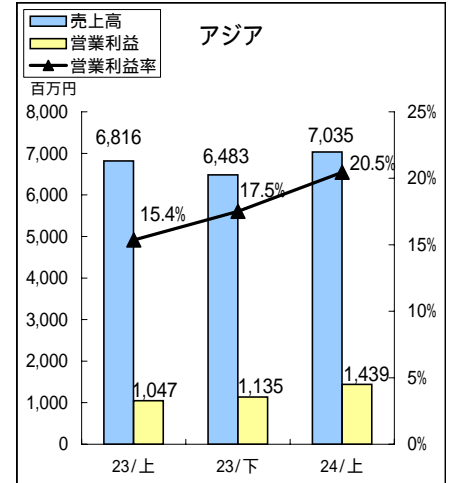
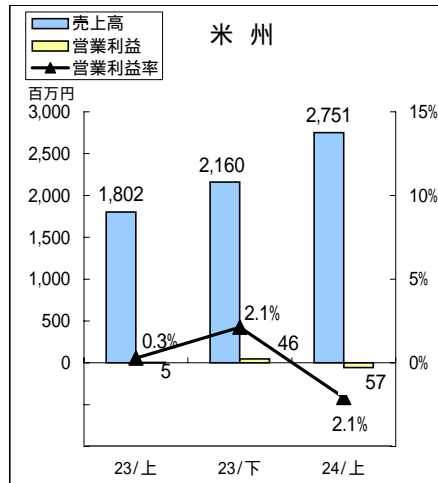
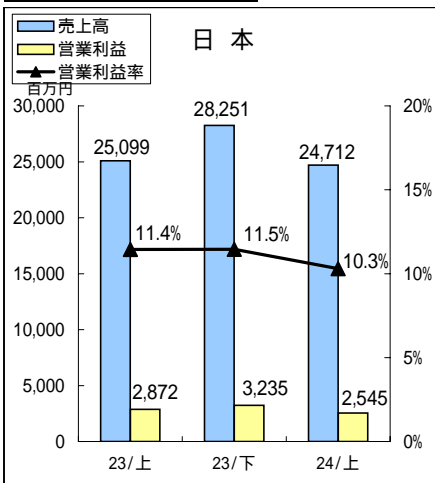
区分	当第2四半期 累計期間実績 (H24/4～H24/9)		前第2四半期 累計期間実績 (H23/4～H23/9)		増減	
	金額	対前	金額	対前	金額	対前
売上高	34,498	100%	33,717	100%	781	2.3%
営業利益	3,927	11.4%	3,924	11.6%	3	0.1%
経常利益	3,943	11.4%	3,916	11.6%	27	0.7%
四半期純利益	2,226	6.5%	2,478	7.3%	252	10.2%
1株当たり 四半期純利益	33.12 円		37.18 円		4.06 円	

2. 貸借対照表

科目	資産の部			負債・純資産の部			
	第2四半期	前期	増減	科目	第2四半期	前期	増減
流動資産	25,725	24,238	1,487	流動負債	17,474	17,464	10
現・預金	3,662	2,821	841	買入債務	6,755	8,008	1,253
売掛債権	15,478	15,384	94	借入金	5,101	4,038	1,063
棚卸資産	4,369	4,248	121	その他	5,618	5,418	200
その他	2,216	1,785	431	固定負債	6,804	7,623	819
				借入金	1,301	2,110	809
				退職給付引当金	2,736	2,749	13
				その他	2,767	2,764	3
				(負債計)	24,278	25,087	809
固定資産	22,144	22,475	331	株主資本	22,110	20,288	1,822
有形固定資産	19,620	19,361	259	資本金	5,654	5,654	-
無形固定資産	377	433	56	資本剰余金	850	850	-
投資その他	2,147	2,681	534	利益剰余金	15,633	13,810	1,823
				自己株式	27	26	1
				評価・換算差額等	837	729	108
				新株予約権	9		9
				少数株主持分	635	609	26
				(純資産計)	23,591	21,626	1,965
合計	47,869	46,713	1,156	合計	47,869	46,713	1,156

注) 主なB/S指標			
自己資本比率	47.9%	45.0%	2.9%
総資本回転率	1.4回	1.5回	0.1回
総資本経常利益率	16.5%	19.2%	-
DER	0.3倍	0.3倍	0.0倍

3. 地域別セグメント情報

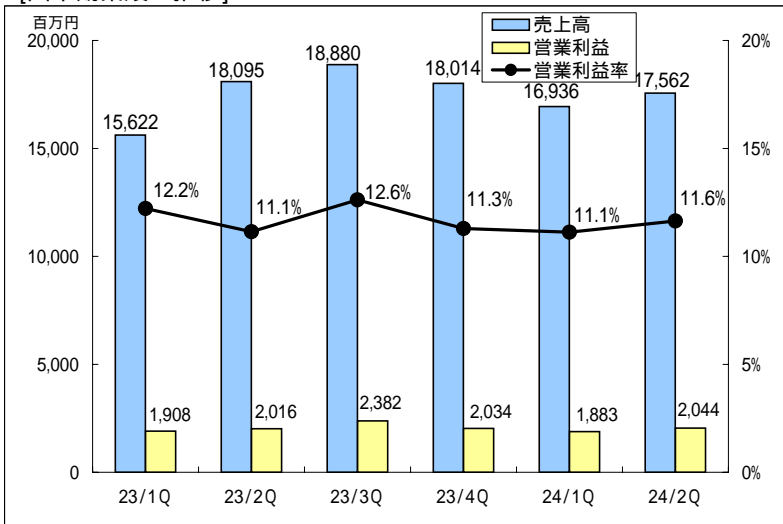


モノ造り改善・調達資材のLCC化・汎用化などの合理化を継続したものの、モデルチェンジ等による製品構成の変化及び建機他の輸出向け部品の減少などにより、減収減益となった。

新車立ち上げによるコスト増により減益。

モノ造り改善のグローバル展開・調達資材の現地化・汎用化の効果などにより、増収増益を達成した。

[四半期業績の推移]



[当第2四半期の主な活動内容]

- モノ造りの更なる改善
 - グループ、グローバルでセル化、直結化、近接化、整流化等の工程改善を推進
- 材料の汎用化によるグローバル調達の推進
 - 廉価材の発掘と製品への応用
 - 海外拠点の現地調達率アップ
- 2015年中期経営計画に向けた拡販の推進
 - 既存顧客と欧米系カーメーカーへの新規受注活動
- 新規拠点展開
 - 鬼怒川橡塑(蕪湖)有限公司、PT.KINUGAWA INDONESIAが2012年6月から操業開始